

北薩感染症情報

2019年第48週(11月25日～12月1日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
 北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
 電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
 E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0		29	42	6.00	↗	-	36	35	7.00	↓	-
小児科 定点	RS	-	-	-		1	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-		1	1	0.25	→	-	1	3	1.00	↗	-
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-		8	20	5.00	↗	-	3	13	4.33	↗	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-		13	12	3.00	↓	-	8	8	2.67	→	-
	水痘	2.0	1.0	1.0		-	-	-	→	-	1	1	0.33	→	-
	手足口病	5.0	2.0	-		2	-	-	↓	-	6	2	0.67	↓	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-		5	7	1.75	↗	◎	-	3	1.00	↗	-
	突発性発疹	-	-	-		1	2	0.50	↗	-	-	2	0.67	↗	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-		1	2	0.50	↗	-	-	-	-	→	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
眼科 定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-		-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-		-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
基幹 定点	細菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
インフルエンザ 入院報告	-	-	-		-	1	/	↗	-	-	-	/	/	-	
報告数合計		-	-	-		61	87	/	↗	/	55	67	/	↗	/

<注意報・警報>

- ・川薩保健所管内 伝染性紅斑の警報が15週連続継続中。
- ・出水保健所管内 なし(手足口病の警報は、警報終息基準の2を下回ったため解除されました)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 つつが虫病(患者1人)
- ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

○ 第48週のピックアップ

- ・伝染性紅斑の流行発生警報が15週連続で継続中
- ・鹿児島レッドリボン月間について
- ・管内のインフルエンザについて
- ・つつが虫病について

注意報・警報)

○伝染性紅斑について

【警報開始基準値 2.0, 警報終息基準値 1.0】

(第48週は川薩・出水のみ掲載)

第48週の伝染性紅斑の発生状況は、川薩保健所管内からは、**7名**(定点当たり報告数1.75)の報告がありました。

15週連続の警報継続中です。引き続き感染の予防をお願いします。

出水保健所管内からは、3名(定点当たり報告数1.00)の報告がありました。

伝染性紅斑とは、ヒトパルポウイルスB19を病原体とし、幼児、学童の小児を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれています。



11月16日～12月15日は「鹿児島レッドリボン月間です」

本県では、WHO（世界保健機関）が1988年に「エイズまん延防止及び感染者・患者に対する差別・偏見の解消を図る」ことを目的として定めた「世界エイズデー」を中心とする1か月間を「鹿児島レッドリボン月間」と定め、エイズに関する正しい知識の普及啓発を実施することにより、エイズの予防及び感染者・患者等が尊厳をもって暮らせる社会づくりを推進しています。

「UP DATE！話そう、HIV／エイズのとなりで
～検査・治療・支援～
(令和元年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ)

【テーマの趣旨】

HIV/エイズに関する知識、行動の「UPDATE(更新)」をキーワードとしています。多くの方がHIV/エイズに関する正しい知識を身につけ、自分の「となり」にある身近なものとして語り合うことで、検査、治療、支援という具体的な行動につながるよう後押しします。

また、HIV陽性者やHIV感染を心配する人たちに社会全体で寄り添うことの重要性を伝えるメッセージも込められています。



「レッドリボン」は、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。

○ インフルエンザ

第48週のインフルエンザの発生状況は、川薩保健所管内からは42名(定点当たり報告数6.00)の報告がありました。

出水保健所管内からは35名(定点当たり報告数7.00)の報告がありました。今後も感染予防に努めてください。

下記の内容を参考に予防に努めてください。

◎ 特徴と対策について

「重症化して合併症を引き起こす、いちばん身近な感染症」

(第48週は川薩・出水のみ掲載)



○ インフルエンザの合併症は死に至る場合も特に高齢者にとって、インフルエンザは大変危険な病気です。抵抗力が弱い高齢者や乳児、持病のある人は、肺炎を併発し、最悪の場合は死に至る場合もあります。

○ インフルエンザの予防法
・手洗い、マスク、予防接種
(飛沫感染、接触感染の予防)

○ インフルエンザにかかってしまったら
・すみやかに受診
・自宅療養の注意点
家族への感染を防ぐため、なるべく家族から離れた個室で療養し、マスク着用、部屋の換気を行うことが重要です。

○ 咳エチケットも「うつさない」「うつらない」ための重要なマナー
咳やくしゃみができる際には、ティッシュペーパーなどで鼻と口を押さえることが重要です。

※ 厚生労働省インフルエンザ啓発ツールへリンクしています。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/keihatu.html>



インフルエンザの感染を防ぐポイント...



インフルエンザ予防接種...

ツツガムシに注意してください

鹿児島県では、11月から1月にかけて「つつが虫病」の発生届出が多くみられます。平成30年の感染症発生動向調査における発生状況は、鹿児島県では89件（全国453件）となっており、全国で最も多くなっています。4.7週に続いて4.8週も、川薩保健所管内からは1件の発生届出がありました。野山に行く際には、下記を参考に予防に努めてください。

つつが虫病とは

- 1 つつが虫病は、草むらや草木のよく繁った場所でツツガムシ（ダニの一種で大きさは約0.3から0.5mm）に刺されておこる病気です。つつが虫病の人から人への感染はありません。
- 2 刺された箇所（刺し口）はまず赤く腫（は）れ、その周りが小さな水ぶくれになり、約10日後には黒いかさぶたとなります。この頃から全身のだるさ、頭痛、食欲不振、発熱など風邪と似た症状とともに、胸、腹、背中などに赤い発疹が現れ、39度から40度の高熱が続きます。
- 3 治療が遅れるとなかなか治らず、肺炎のような症状が現れ、せきが出たり、肝臓や脾臓が腫れるなど全身症状が強くなることもあります。

※ 予防や咬まれたときの対処法については、下記をご参照ください。

厚生労働省

ダニ対策

「ダニ」にご注意ください

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。
野山に生息するダニに咬まれることで
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

- 肌の露出を少なくする
⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
⇒ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- 足を完全に覆う靴を履く
⇒ サングル等は避ける
- 明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）
 - * 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう
 - * 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう
特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意

ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】
① 野外活動の日付け、② 場所、③ 発症前の行動



約3cm	約0.5cm	約1.5cm
		
ペットボトルのキャップ	マダニ (吸血前)	マダニ (吸血後)

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自自治体HPも参考にして下さい

平成29年4月